

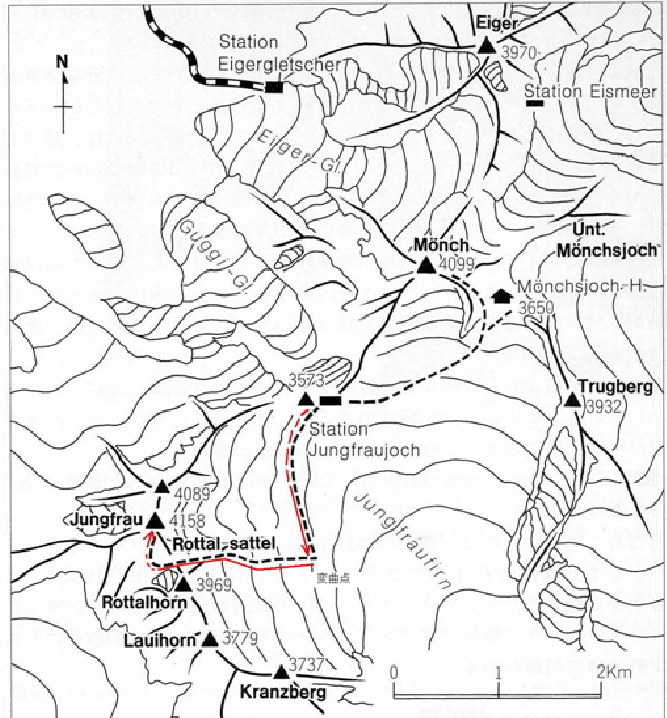
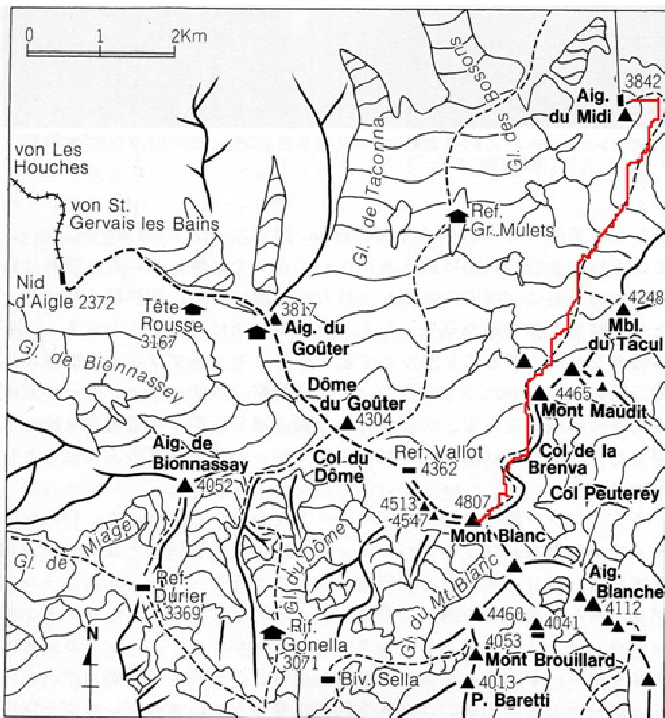
山行報告書

報告書作成

2008/9/6

山名 [山域]		モンブラン4807m, マッターホルン 4478m, ユングフラウ4158m		目的と方法		シャモニ, ツエルマット, グリンデルワルト から往復	
登山期間		08年8月6日 ~ 08年8月19日		山行形態		キャンプ場テント泊日帰り往復	
参加人数		OAC会員2名		() : 日本時間			
行動記録	地点	発	地点	着	地点	着	歩行時間
8月6日	名古屋中部空港	10:00	シガポール空港	15:05(16:05)	マライオン	18:45	1:00
8月7日	シガポール空港	01:05	チューリッヒ空港	7:45(14:45)	シャモニ-モンブラン	14:33	0:30
8月8日	レス・モリアレスキャンプ場	7:15	エキュ・デ・ミテイ	8:00	コル・デ・ミテイ	14:20	0:50
8月9日	コル・デ・ミテイ氷河	2:30	タクユル, モンモテイ	5:05, 7:20	モンブラン4807m	10:15	登り7:45
8月9日	モンブラン4807m	10:23	モンモテイ, タクユル	12:30, 14:30	コル・デ・ミテイ氷河	16:30	下り6:07
8月10日	コル・デ・ミテイ氷河	7:10	エキュ・デ・ミテイ	8:25	レス・モリアレスキャンプ場	10:45	1:15
8月11日	シャモニー駅	7:17	マルチニ駅	8:54, 10:08	ツエルマット	12:20	2:30
8月12日	ツエルマットキャンプ場	8:55	スネガ, グルンゼー	10:00, 12:00	ツエルマット	16:30	6:00
8月13日	ツエルマット駅	6:13	Visp, Spiez,	7:24, 7:53	グリンデルワルト	9:09	1:00
8月14日	グリンデルワルト駅	6:55	ユングフラウヨッホ	8:25, 8:50	ユングフラウ直下4050m	15:35	登り6:45
8月14日	アレッチ氷河	19:00	ユングフラウヨッホ	21:00	トンネル内ビバーク		下り5:25
8月15日	ユングフラウヨッホ駅	8:37	グリンデルワルト駅	10:00			1:30
8月16日	グリンデルワルト	9:20	フィルスト, バッアルプゼー	10:00, 11:40	Faulhorn2686m	13:00	登り3:00
8月16日	Faulhorn2686m	14:00	バッアルプゼー, フィルスト	14:55, 15:50	グリンデルワルト	16:35	下り1:50
8月17日	ダウントウンロッジ	05:55	Luzern観光	9:50, 12:20	チューリッヒ空港	19:30, 22:05	2:30
8月18日	シガポール空港	16:10(10:10)	ブキストリート観光	16:30, 21:30	シガポール空港	22:00	1:00
8月19日	シガポール空港	0105(19:05)	名古屋中部空港	9:00, 10:30	西尾文化会館前	11:26	0:30

概念図



日誌

7/19にインターネットでNGO, SIN, ZRH往復航空券を予約、往復188,000円/人。7/24(株)enaへ入金、すると確約されenaからメールで「eチケットお客様控え」がA4でメールに添付され送られてくる、これには航空券番号13桁があり、これをA4印刷して出発当日中部空港ロビーで見せれば航空券がもらえチェックインも済む。帰りもチューリッヒ空港で見せれば良く、便利になった、そしてHISでスイスセイバーパス4日間(好きな日)25,200円/人を購入した(3週間前には依頼しないと間に合わない)

8/6(水) NGOから飛ぶのは初めて、西尾から空港バスで約1時間(1500円)、7:30に着きNさんとすぐに合いチェックインあつける荷物は17.5kg(大型ザック68L)、重登山靴は履いているので機内手荷物は5kg(小型ザック35L)で NGO10:00発、SINに15:30着。出発まで時間が有る為、無料シャトルバスでサンテックシティへ夕食とマライオン観光をする。

8/7(木)、SIN、0105発SQ346、機内食が2回出る、映画も3本見た。07:45チューリッ着(日本時間14:45時差-7h)往路は時間がゆっくり流れまだ朝だ、帰りは時間が早く過ぎる、SBBスイス国鉄に改札は無く、スイスセイバーパス4日間がある為すぐに乗り込む、車内で第1日目8/7チェックを車掌に書いてもらう。9:13チューリッ Flughafen 駅発++チューリッ中央駅(9:25,9:30)++ロザンヌ(11:40,11:50)++マルチーニ(12:41,13:01)++シャモニモンブラン駅14:33到着、終点で無く、うたた寝してNさんに起こされる有難う。モンブラン駅から北方向奥の日本語観光案内所のベルナーテッド女史(16時から出勤)に遭難救助保険(321-0)入会と天気を聞きに行く、2,3日は晴れということなので明日からモンブランアタックを伝えるツェルマツト場は閉鎖され、ロープウェイ駅に近いレス・モリアセスキャンプ場を紹介され、結局、安く清潔で広く、オーナーが優しい良いキャンプ場でした。(2泊2人1張で35.21-0)そしてシャモニ山用品店の日本人、神田さんから250gガス×4本211-0で少し高いが購入、コル・デ・ミディ氷河はキャンプは禁止だがピクニックならOKと教えてくれる。今日出会った日本人は、飯野さん61才:30日以上安宿で泊まりながらのんびり1人旅を楽しんでいる。石井さん:テント泊でハイキング一人旅を楽しんでいる年配の方。神田さん:シャモニ登山用品店のアドバイザー。熊田さん:立川山岳会の夫婦で登山に来た若きクライマー。

8/8(金)曇りのち晴れ、レス・モリアセスキャンプ場7:15出発、エギュール・デュ・ミディまでロープウェイ往復381-0/人で切符を購入、7:45出発++エギュール・デュ・ミディ18:00着、ここはすでに3800mあり高所順応の為、のんびり過ごしていると、会社の重役夫婦にバツリ会い2人に励まされるありがとう、「モンブランを必ず登って良い報告をするぞ」と気合が入る、展望台で肉眼でモンブランルートを確認し、13:30ミディ登山口の洞窟をアイゼン・ハーネス・ヘルメットを装着しロープをパートナーと結び合い出発。いきなり狭くて急な怖い下降路を慎重に氷河に下ると平坦になり1時間ほど歩くと右上にコスミック小屋の見える所の氷河上をテント場に決定14:20着、3人用テントを張り(14:50)明日はAM1:00起床と早い為、ジフーズで食事をして、18:20就寝。

8/9(土)01:00起床、テントの外に出ると星が輝き天気は快晴だ、急いでシュラフをたたんで味噌ラーメンを食べアタックザックに必要な物を詰め、大型ザックに不要なテント、シュラフ、他を詰め、ザックカバーをセットして残す。2:30出発する。と、コスミック小屋から出発したガイドパーティーのヘッドライトの光の線が登山ルートを明確に示してくれている。平坦な氷河をクレパスに気をつけてパートナーとザイルを結び合せてコンティニアスで1時間ほど歩く、タキュルへの急斜面をスリッパしない様にヘッドライトの50cm幅の明かりを頼りに3つの小セラックを越えるとタキュルの上部平坦になり、トラバースする、ゆるく50mほどコルへ下降するとモンモディに向かうトラバースになる、ここで夜が明けだす、左上からのセラック崩落を気にしながらモンモディの一番急斜面の氷壁に差し掛かる、一見簡単に登れそうだが雪の下は氷であった、幸いフィックスロープが今年は固定されていた、やはり滑落事故の多い所だ、左手にフィックスロープを握り、右手でピッケルのピックを打ち込み、両足は12本爪アイゼンの前爪を氷に蹴り込んでゴボウで難なく登ってしまった、7:20通過。そしてまた平坦になった所がコル・デ・ラ・ブレンバ4500mだ、パートナーは体力消耗でここで待機を表明。此処からは急斜面は少なくザイルも不要でイージーになるとフランス人4名パーティーが教えてくれるサンキュー。休憩後8:00単独出発、滑落注意でスタート、足うで身体はヘロヘロだが精神面だけはしっかりさせる為「絶対登ってやるぞ」と声を出して気合で登る。ガイドパーティーが20人くらい見えるので少し気が楽だ、その半分はグーテ小屋に下りると思う、10:15やったぜ!モンブラン4807m登頂。うれしい、人生の目標の1/3が達成された、登り7時間45分掛かった、8分間喜びで写真・動画をとりまくり、10:23下山開始。モンモディのコルにパートナーはいなかった、モンモディ氷壁の上でツェルトをかぶって4時間も待っていてくれた、ありがとう、さあザイルを結び合せて安全に下りましょう。しかしタキュルの平坦面でルートを間違え上に登ってしまう、急斜面になり気が付き正規ルートに戻って20分ロス。そして雪が腐って来て足がはまり出すと平坦な氷河に降り立つ、後で知ったことですが8/25AM3:00ころ、此処タキュルの急斜面の雪崩(幅50m長さ200m、氷塊の転落が原因)で8人行方不明のようです、犠牲者の冥福を祈ります。

平坦な氷河に立つと1時間程でテント場に16:30到着したがロープウェイ最終17:40でまだあるが、ここにデポした荷物をパッキングしてから行っても間に合わないの、ここでもう一泊するためテントを再び設営する。下り6時間07分(総計歩程14時間)

8/10(日)晴れ6時起床朝食なし、7:10出発、ミディに近づくるとぞくぞく登山者がトンネルから出て来て両サイド切落ちしている為、すれ違いに気を付けないと命が無くなる、怖い道道を譲る。8:25ミディ洞窟登山口に入る、やった無事下山した。いきなり日本人観光ガイドと客の若い女性2人と登山ガイド見習いの日本の若者とで写真を撮られる、でもうれしいからサービスしておこう。9:10ミディ発++シャモニ9:30着、スーパーで食料を買物してレス・モリアセスキャンプ場10:45着、預けた荷物をもらいテント張ってシャワーを浴びてのんびり、ランチする。午後から日本語観光案内所のベルナーテッド女史にモンブラン登頂の報告とお礼を言いに行くと今後天気は不安定でマッターホルンはやめなさい、警沢よ、好運は続かないわよと言われる。スーパーで夕食朝食2人分23.361-0で買ってキャンプ場でのんびりする消灯23:00。明日はツェルマツト移動日だ。

8/11(月)晴れのち雨、5:30起床、テントをたたんで全荷物パッキングして6:35清算し受付出発(2人2日1張り35.21-0)。シャモニ駅(7:06,7:17)++マルチーニ駅(8:54,10:08)++ツェルマツト(12:20)まず観光案内で天気を聞く、2,3日曇り時々雨ばかり、チェンジマネー40000円×0.92=368sf(1sf=103円)、キャンプ場13:30着、オープン17:30の為、先にテントを張ってしまう。2日1張り2人分44sf(先にテントを張った為、もっと前から張ってあったじゃないかと言われたがN氏がNO!とはっきり言ってくれたお陰でぶつぶつ言いながら言ってしまった。怪しいオーナー。)22:00消灯。

8/12(火)晴れのち雨、6:00起床、朝食ヌードル食べて今日はハイキング、キャンプ場8:55発--ケープル駅(9:30,9:45)++スネガ駅(10:05,10:15)--ライゼー(10:30)--グリュンゼー(12:00)--リッフェルアルプ駅(14:00)--ウインクルマツテン(16:00)--ツェルマツト(16:30)スーパーであす朝食のサンドイッチを買う、BARでディナー350mlビール付き25sfまあ美味くて安い。明日天気が良ければブライトホルンを登りたかったが明日も悪い天気の為、明日は移動日と決定。キャンプ場でシャワーして20:30消灯。一晩中雨。

8/13(水)雨のち曇りのち晴れ、4:30起床、キャンプ場5:43発--ツェルマット駅(5:55,6:13)++Visp乗換(7:24,7:28)++Spiez乗換(7:53,8:05)++インターケンオスト(8:28,8:35)++グリンデルワルド(9:09)--日本語観光案内で14日は晴れ、15日は下り坂、グリンデルワルド~ユングフラウヨッホまで通常158SFのところ、スイセイバーパスで106.5SFになったがまだ高すぎる。キャンプ場でテントを張りキャンプ代(2日分1張り2人51.2SF)を払う、そしてグリンデルワルドの駅のベンチでボーと昼寝1時間するそして家族に電話しモンブラン登ったこと、明日ユングフラウ山4158mアタックすることを知らせる。夕食朝食をスーパーで買う、サラダ、ドレッシング、七面鳥肉、ピーマン、トマト、パイナップルジュースで満腹です。シャワーして洗濯して、あすのアタック準備をして21:30おやすみなさい。

8/14(木)晴れ時々曇り、5:00起床、キャンプ場6:00発--グリンデルワルド駅(6:25,6:55)++ユングフラウヨッホ(8:25,8:50)--(アレッツ氷河1H歩くと変曲点)--20m岩リス(10:00)--Rottalhorn3969m直下12:30通過すると左上の雪庇の嫌らしいトラバスをこなし、急斜面を稜線によじ登る、そして頂上に向けて7ピッチ位だ、4千数十mで15:30になりタイムオーバーあと100m余りを残して敗退を決める。すると雷がドカンと一発鳴る。さあ滑落しない様にゆっくり安全確実に下降しようと声を掛け合いながら下る、長い下降だ、ユングフラウヨッホのトンネルに21:00にやっと到着、よかったトンネル扉は開くことが出来た。最終電車は17時台でない為、ピバークする、寒い、展望台へエレベーターで上がれば温かった。22時レスキューシート袋に入って寝るが中に水滴がたまりかえって寒い。

8/15(金)雨か雪、5:30ツェルトを畳む、エレベーターで展望台へ行くとすごく温かい、ここで寝れば良かった、早い係員が来て挨拶をするグーテンモルゲン、私たちが此処でピバークした事に驚いた様子も無い、駅でピバークする人が多くいるらしいクロワッサンとコーヒーで6.9sfの朝食。ユングフラウヨッホ始発8:37発++グリンデルワルド駅(9:50)、途中で乗車したジャマイカ風の人にハローの挨拶をして話をすると陽気なインド人でJothi Kandaswamy44才独身、安宿で旅をしている、名刺にはBANANAとありバナナを扱う会社かも。写真を撮り合いメールで送る約束をして別れる、後日写真を送ってくれた。私もモンブランの写真と一緒に送信すると、すばらしいと喜びのメールが来る。グリンデルワルドは一日中雨々、上は雪のようだ。COOPで昼食を買いテントでランチする、そしてテントでうつらうつら昼寝、シャワーでさっぱりしてまた昼寝、16:30雨の中、日本語案内所へ明日の天気を聞きに行く、晴れです。よし濡れ物を干し、もう一泊キャンプのお願いする2人1張り25.6sf、明日はフィルストハイキングだ、夕食と明日の朝食、昼食をCOOPで買う、牛ステーキと鶏肉タイ風焼肉が美味しい。21:30歯を磨いて消灯。

8/16(土)晴れ、6:00起床、リフト乗り場(9:00,9:20)++フィルスト(9:50,10:00)--パッハアルプゼー(11:30,11:40)--ファウルホルン2686m(13:00,14:00)--パッハアルプゼー(14:55)--First(15:50,16:15)--グリンデルワルド16:35、今日はダウンタウンロッジを予約した37sf朝食4時から付き、安い15人相部屋だがベットで寝れる、シャワーして街でスパゲティセット(27.5sf)とビールで乾杯(19:30,21:00)ロッジに戻りベットにシーツと枕カバーをして22:00消灯。

8/17(日)5:00起床、荷物まとめて食堂へ、フランスパン2枚、ハム、バター、ジャム、はちみつ、コーヒー、牛乳をいただきます。5:55ロッジ発、グリンデルワルド駅(6:05,6:20)++インターケンオスト(6:54,7:01)++Bern乗換(7:52,8:00)++Luzern市内観光(9:50,12:50)++Zug乗換(13:21,13:29)--南へ川沿いを歩き湖に出てスイスセイバーパスで遊覧船は無料のため乗船(16:30,18:00)一時間30分の遊覧の旅、優雅なひと時を満喫--チューリッヒ中央駅HB(18:40,19:01)++チューリッヒ空港(19:30,22:05)フライト===。

8/18(月)==シンガポール16:10着、0105出発まで時間がある為、SIN市内観光、無料シャトルバスでプギスストリートへ行き、夕食とお土産を物色。SIN空港21:30着、ベンチで寝る。

8/19(火)シンカポール空港0105発===名古屋中部空港(09:00,10:30)=Nさんに感謝の挨拶でお別れをする=(空港バス1500円約1時間)==西尾文化会館前(11:26,11:30)==自宅(11:40)日本は蒸し暑い。

感想

27年前24の夏、2週間の休暇を取り、大学山岳部OBの先輩3人と私の4人で欧州アルプス登山に行ったことがあります、その時はメンヒ4099mは登れましたがマッターホルン4478mの4200m肩までしか時間切れで登れませんでした。そして今回OAC、N代表に2度目の欧州登山の機会を作って頂き大変感謝しております、N代表は2度もモンブラン山頂に立っておられ、豊富な経験により、ゲテ小屋からの一般的ルートからはやめて、よりハードでダイナミックなコスミック小屋ルートをガイドレスで欧州アルプス最高峰のモンブラン4807mに立たせて頂きました。ちなみにモンブランガイド料は1人約11万円、マッターホルンモブライトホルンも同じ位必要です。